

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【公開番号】特開2014-204345(P2014-204345A)
 【公開日】平成26年10月27日(2014.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報2014-059
 【出願番号】特願2013-80001(P2013-80001)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 52/02 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

セルを管理する基地局であって、
 無線信号を送信する送信部と、
 前記送信部を間欠的に起動する間欠送信を行う制御部と、
 前記セル内のユーザ端末からの通信要求を受信する受信部と、
 を備え、

前記制御部は、前記間欠送信を行っている場合に、前記通信要求の受信に応じて前記送信部の起動パターンを変更し、変更後の前記起動パターンを示すパターン情報を前記ユーザ端末に通知することを特徴とする基地局。

【請求項2】

前記制御部は、前記通信要求の受信に応じて前記起動パターンを変更する場合に、前記ユーザ端末が行う通信に関する情報に基づいて、変更後の前記起動パターンを設定することを特徴とする請求項1に記載の基地局。

【請求項3】

前記通信に関する情報とは、当該通信に要求されるQoSを示す情報、又は、当該通信のデータ量を示す情報であることを特徴とする請求項2に記載の基地局。

【請求項4】

前記制御部は、前記パターン情報をRRCメッセージ又はランダムアクセス応答に含めて前記ユーザ端末に通知することを特徴とする請求項1に記載の基地局。

【請求項5】

前記制御部は、前記間欠送信において第1の周期で前記送信部を起動しており、
 前記制御部は、前記通信要求の受信に応じて、前記第1の周期よりも短い第2の周期を有する前記起動パターンに変更することを特徴とする請求項1に記載の基地局。

【請求項6】

前記パターン情報は、前記第2の周期を示す情報と、前記送信部を起動した際の起動時間を示す情報と、前記送信部を起動するタイミングを定めるオフセット値と、のうち少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項5に記載の基地局。

【請求項7】

前記制御部は、前記間欠送信を行っている場合に、前記セル内の複数のユーザ端末から

の通信要求の受信状況に基づいて、前記間欠送信を解除して通常送信を開始することを特徴とする請求項 1 に記載の基地局。

【請求項 8】

無線信号を送信する送信部を有する基地局のセルに在圏するユーザ端末であって、
前記基地局に対して通信要求を行う制御部と、
前記通信要求の送信に応じて変更後の前記送信部の起動パターンを示すパターン情報を前記基地局から通知されると、前記パターン情報に基づいて前記基地局からの受信を行う受信部と、
を備えることを特徴とするユーザ端末。

【請求項 9】

前記パターン情報は、前記基地局からの R R C メッセージ又はランダムアクセス応答に含まれることを特徴とする請求項 8 に記載のユーザ端末。

【請求項 10】

無線信号を送信する送信部を有する基地局を制御する通信制御方法であって、
前記送信部を間欠的に起動する間欠送信を行うステップと、
自セル内のユーザ端末からの通信要求を受信するステップと、
前記通信要求の受信に応じて前記送信部の起動パターンを変更するステップと、
変更後の前記起動パターンを示すパターン情報を前記ユーザ端末に通知するステップと、
を含むことを特徴とする通信制御方法。